

はじめての国際共同学習 ABC Book

- 小学校一年生でもできる国際交流 -

神奈川県大和市立桜丘小学校 島崎 勇

simazaki@fc.wifax.jp

<http://ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-saku/>

キーワード：小学校，国際交流，国際共同学習，絵本づくり

1. はじめに

インターネットで海外の学校との交流を始めた頃、相手が外国だからと言って、「日本の紹介」とか「日本文化を紹介しなくては、、、」等という雰囲気があったものだ。しかし、それは、必ずしも現実の子ども達の生活を反映しているとは限らず、交流も何時しか立ち消えになったりする事も多かったと思われる。では、国際交流の課題としてどんなものがあるのだろうか。2002年の時点で、海外の学校との交流は、まだまだ難しいのだろうか。

2005年型学習環境の活用というものを考える時、国際交流に新しい視点を加える事ができる。それが、国際共同学習である。ここでは、この2005年型学習環境を活かした、小学校の一年生でもできる海外の友だちとの絵本作りについて提案をしようと思うのである。

2. 国際交流から国際共同学習へ

国際交流もめずらしいものではなくって、各地で色々な取り組みが行われていると思われる。特別に何か支援があれば別だが、独自で交流相手から探そうとなると、今でもやはり国際交流は、難しいのかもしれない。交流の必然性を持ち、具体的な課題を作って取り組むということは、なかなか最初から一人でできるものではないだろう。

今回は、KIDLINKという国際的な草の根のボランティアの仲間との交流である。1990年の創設以来、その時々色々な課題を作って取り組みを続けている。ここでは、教員のプロジェクトマネジメント能力の向上も目指され、それぞれが、プロジェクトのマネージャーとかコーディネーターになって、世界の子ども達との共同学習を推進している。KIDLINKでは、子ども達が普段使っている言葉で海外の子ども達と交流が出来る。教員が翻訳のボランティアもして子ども達を世界につなげようとしている。英語の他にも、スペイン語やポルトガル語、そしてイタリア語等、色々な国の言葉でもその活動を展開している。

3. International Alphabet Book Project

これは、KIDLINKのプロジェクトとして取り組まれていた。本年度担当している肢体不自由児級の一年生と参加したいと思っていたのである。子ども達の今後の生活圏が少しでも広がればいいなと願ってインターネットを通じた学習を導入したいと考えていた。KIDLINKには、学習を共有し、作品を交換し合っている仲間がいる。その世界の仲間に、日本の子ども達をぜひ紹介したいと思っていたのである。

International Alphabet Book Projectというのは、アルファベットのAからZまでの文字で始まる言葉集めをKIDLINKの世界の仲間とやろうというプロジェクトである。日本の子ども達も、ひらがなとかカタカナを習うので、これなら一緒に学習を進められると考えていたのである。

今回のきっかけは、一枚のコアラの絵から始まった。教室には、オーストラリアから送られてきたコアラのぬいぐるみがあった。それを見て、ある子がコアラの絵をかいたのである。あまりにかわいくかけていたので、ぜひ、KIDLINKの仲間に紹介したくなった。保護者の了解を得て、その絵を送ったところ、次のような励ましのメッセージが届いた。

Hello,

Yes! Your koala is lovely. You did such a nice job. I really like your drawing and hope to see more drawings from you soon.

Your friend in Maryland,

Patti

イタリアの先生からも、

Ciao, your koala is really very nice! You did a good drawing and I hope to see other.

Pia from Italy

さっそくに大歓迎をしてくれた。この話を保護者にも伝えたところ、どうも本人は、絵がへただと思ひ、嫌いだと思っている事が分かってきた。ところが、ある日突然に、「ぼく、ライオンをかく」と言い出した。しかし、彼にとってライオンは描くのが難しく、苦勞の末にできあがったのが、次の絵であった。しかし、これもまた、堂々としたネコの絵であったので、さっそくKIDLINKの仲間に紹介したのである。

そうしたら、次のメッセージが届いた。アメリカのパッティー先生からである。



Hello ,

What a very nice cat you have made for us! I like it very much. Does the cat have a name? He looks like he is smiling. I think he is a happy cat.

Please draw more pictures for us. You are an artist!

Your friend in Maryland,

Patti

自分が絵が嫌いだと思っていたのに、色々な国の先生からほめてもらって、やる気になったのだ。



こんな風に始まった取り組みであった。その後、このプロジェクトに参加しているスロベニア、アメリカ、オーストラリア、スペイン、ブラジル、イタリア等の国の子ども達の絵がいっぱい集まっていった。日本では、この世界の子ども達の絵と自分たちのかいた絵を使って絵本を作ることになっている。その絵に文字と音声をセットにして声の出るCDROMも作ろうと話している。できあがったら、折り紙のコアラを付けて、仲間の学校に届けようとも話している。

4 . 今後の課題

お互いの普通の授業の中で共有できるものがあれば、それをプロジェクトにして世界の仲間と取り組んでみようとしてきた。そんな中で、一年間かけてのプロジェクトもあるが、中でも好評なのが、共同ライティングのプロジェクトである。つまり、物語をみんなで共同して作ろうというものである。幸いにして、KIDLINK には、色々な国の子ども達が参加しているので、興味ある展開を日夜しているのである。

日本の学校にも、もっと多く、こういう世界の仲間との共同学習に参加してもらいたいと思っている。そして、日本の子ども達の視野を広げていかれるような取り組みをもっともっと展開していきたいと思っている。